

## H26深井新田地区低水護岸工事概要について



創意工夫：H25 深井新田地区  
低水護岸工事@川村建設(株)施工

江戸川左岸33.4k(流山市深井新田地先)における鋼矢板式の低水護岸および高水敷整備を目的とした延長(L)=100.0mの工事です。

主な工事内容は、盛土工、コンクリートブロック工、鋼矢板護岸工、砕石舗装工、構造物撤去工並びに仮設工です。本工事の特徴は、盛土材として、河道掘削(江戸川右岸27.5k付近)した土を改良して盛土材に再利用することです。

また、昨年度から松戸出張所管内の工事においては、新たな取り組みとして、水際部の自然環境の再生を目的とした施工を実施しており、本工事においてもこの取り組みを継続する予定です。具体的には、袋詰根固の配置の工夫であったり、間伐材を再利用した左写真のような、自然な水際部をイメージした施工する予定です。

工事名：H26 深井新田地区低水護岸工事

工期：平成27年7月17日～平成28年2月29日

受注者：株式会社ケージーエム

現場代理人：澤野 和哉 Tel(048)536-8118

## 台風11号の降雨に伴う出水(増水)対応について

平成27年7月16日(木)から7月19日(日)にかけて、台風11号がもたらした降雨の影響に伴い、江戸川が増水し水位が上昇したため、江戸川に注いでいる坂川や六間川への逆流防止のための水門閉鎖と坂川や六間川の水位上昇を抑制するための排水機場の運転を行いました。

なお、松戸出張所が操作した排水機場や水門の稼働状況については、以下のとおりです。

松戸水門全閉操作：平成27年7月16日(木)19:11

松戸排水機場運転操作：4回運転(25.0m<sup>3</sup>/s×1台)

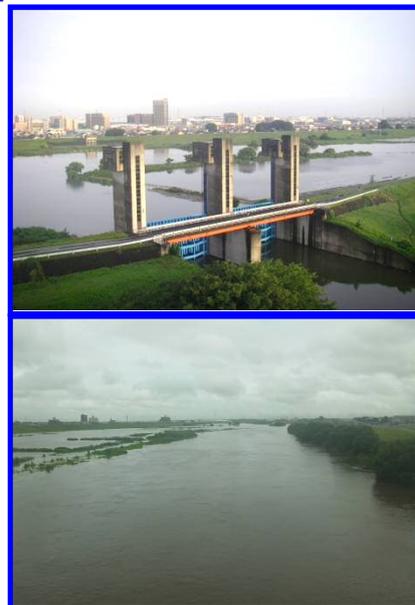
総排水量378,500m<sup>3</sup>(ポンプアップ量約150杯分)

古ヶ崎排水機場運転操作：3回運転(7.5m<sup>3</sup>/s×1台)

総排水量115,650m<sup>3</sup>(ポンプアップ量約50杯分)

松戸水門全開操作：平成27年7月19日(日)22:00

右上写真:閉鎖された松戸水門 右下写真:流山橋付近



## 河川(水面を含む)における安全利用点検について

安心して河川を利用していただくという観点から、松戸出張所管内において、河川利用者の増加する時期(夏休み前)の平成27年7月7日(火)に実施をしました。

右上の写真は、松戸市樋野口付近の「ふれあい松戸川」上流部に設置されている栈橋の一部破損状況です。親水施設の損傷部での事故等に配慮し、応急措置として、危険を回避するため、立ち入り禁止措置の設置を当日に実施し、本措置として、7月9日(木)に補修を実施しました。

なお、その他松戸出張所管内においては、河川利用者に対して危険性がない状態を確認しました。今後も、河川空間において利用者が安心・安全に利用出来る環境を維持・管理するように心がけて参ります。



## 流量観測研修をふれあい松戸川で実施しました。



「関東地方整備局主催基礎研修基礎技術(流量観測)平成27年7月8日(水)から10日(金)に国土交通大学校柏研修センターを会場に開催」における講義の一つとして「低水流量観測現地実習」が平成27年7月9日(木)の午前中に「ふれあい松戸川」で実施されました。

左の写真は、雨の中にもかかわらず、河道計画や取水量計測のために重要な「低水流量観測」の実技を研修生が真剣に実施していた状況です。

松戸出張所では、実技会場を提供するだけでなく、3日間にわたる研修の座学を含む講師も担当しました。松戸出張所では、社会資本整備に携わる人材の育成にも積極的に取り組んでいます。

### 写真館



### あともがき

左の写真は、平成27年7月2日(木)3日(金)の2日間で開催された、平成27年度スキルアップセミナー関東表彰式の様子です。当出張所における「基礎自治体等との河川管理情報共有の取り組み」が行政マネジメント部門において、審査員特別賞を受賞しました。主水だより(第22号)編集:T.S